

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 4 区分

【発行日】令和 5 年 8 月 22 日(2023.8.22)

【公開番号】特開 2022-44922(P2022-44922A)

【公開日】令和 4 年 3 月 18 日(2022.3.18)

【年通号数】公開公報(特許)2022-049

【出願番号】特願 2020-150312(P2020-150312)

【国際特許分類】

H 0 2 K 7/10(2006.01)

F 1 6 H 41/24(2006.01)

B 6 0 K 17/04(2006.01)

F 1 6 H 45/02(2006.01)

F 1 6 F 15/134(2006.01)

B 6 0 K 6/26(2007.10)

B 6 0 K 6/40(2007.10)

B 6 0 K 6/36(2007.10)

10

【F I】

H 0 2 K 7/10 Z

F 1 6 H 41/24 A

B 6 0 K 17/04 G

F 1 6 H 45/02 X

F 1 6 F 15/134 A

B 6 0 K 6/26 Z H V

B 6 0 K 6/40

B 6 0 K 6/36

20

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 8 月 10 日(2023.8.10)

【手続補正 1】

30

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 9】

前記ダンバ装置は、

エンジンのクランクシャフトに取り付けられる入力プレートと、

前記伝達シャフトへトルクを出力する出力部材と、

前記出力部材と前記入力プレートとを弾性的に連結する弾性部材と、

を有する、

40

請求項 2 に記載の駆動装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0036

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0036】

第 2 ワンウェイクラッチ 24d は、ステータシエル 24a の内周端部に取り付けられる。
また、第 2 ワンウェイクラッチ 24d は、筒状の固定シャフト 102 に支持されている。
固定シャフト 102 は伝達シャフト 4 の外周面とタービンハブ 22c の内周面との間を

50

延びている。固定シャフト 1 0 2 は、回転不能に配置されている。

【 手 続 補 正 3 】

【 補 正 対 象 書 類 名 】 明 細 書

【 補 正 対 象 項 目 名 】 0 0 6 3

【 補 正 方 法 】 変 更

【 補 正 の 内 容 】

【 0 0 6 3 】

リティニングプレート 5 3 は、出力部材 5 2 と一体的に回転するように構成されている。例えば、リティニングプレート 5 3 は、リベット（図示省略）などによって、出力プレート 5 2 1 に取り付けられている。リティニングプレート 5 3 と出力プレート 5 2 1 との間には、入力プレート 5 1 が配置されている。

10

20

30

40

50